



主題

クラブ情報

- 下田クラブ会長 『結 束』 臼井 啓太郎
 【国際会長】 “ともに、光の中を歩もう” Henry Grindheim
 【アジア地域会長】 “ワイズ運動を尊重しよう” Tung Ming Hsiao
 【東日本区理事】 “広げよう ワイズの仲間” 栗本 治郎
 【富士山部長】 “生き活き仲良し 富士山倶楽部” 加藤 博

- 会 長： 臼井啓太郎
 副 会 長： 池谷 淳
 直前会長： 長田俊児
 書 記： 土屋恒夫
 会 計： 土屋 誠
 監 事： 佐々木眞澄
 監 事： 長田俊児

今月の強調月間テーマ 『BF, メネット』

今月の聖句

BF = Brotherhood Fund 「ブラザーフッド基金」
 海外のクラブを訪問する、国際大会に参加するなど、
 BF代表が、公式の旅行をする時の旅費を補助する基金。
 3週間以上訪問をするフルグラント(全額補助)と大会
 に参加するだけのパーシャルグラント(一部補助)が
 あります。

神はまた言われた、「水の間におおぞらが
 あって、水と水とを分けよ」。

God said, "Let there be an expanse in the
 middle of the waters, and let it divide the wa-
 ters from the waters."

創世記 第1章 6節

第444回 3月例会 プログラム

日時：2018年 3月21日(水) 18:30~21:00

場所：下田東急ホテル 下田市 5-12-1
 Tel: 0558-22-2411

受付：土屋 誠 Y's
 司会：土屋 恒夫 Y's

- ◇ 開会点鐘 臼井 啓太郎 会長
- ◇ 開会の言葉 清野 大樹 Y's
- ◇ ワイズソング 一 同
- ◇ ワイズの信条 平田 充浩 Y's
- ◇ 会長挨拶(ゲスト・ビジターご紹介) 臼井 啓太郎 会長

- ◇ 書記&委員会報告 書記・各委員会
- ◇ 食前の感謝 佐々木 眞澄 Y's
- ◇ 会食 一 同
- ◇ 誕生日&結婚記念日祝い 親睦委員会
- ◇ スマイル 親睦委員会
- ◇ 出席率・スマイル報告 プロ・ドラ委員会
- ◇ 閉会の言葉 長田 俊児 Y's
- ◇ 閉会点鐘 臼井 啓太郎 会長

The Y's Men's Club of Shimoda

THE SERVICE CLUB OF YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S
 CLUBS

事務局：〒415-0022 静岡県下田市2丁目 5-9

(臼井啓太郎会長宅) ☎ 0558-23-3007

第38期会報委員会: 委員長: 清野大樹(☎ 090-2798-4529),
 副委員長: 長田俊児, 委員: 池谷淳

誕生日 & 結婚記念日

3 月 Happy Birthday
Wedding Anniversary

共に会員にはおりません

| | | | |
|---------|-----------|--------|--------|
| 2 月スマイル | 8,000 円 | キャップ累計 | 0.0 kg |
| スマイル累計 | 112,000 円 | プルタブ累計 | 0.0 kg |

2 月 例会出席等 報告

| | | | |
|------|------|------|-----|
| 在籍者 | 11 名 | 正会員数 | 8 名 |
| 内休会員 | 3 名 | 功労会員 | 1 名 |

| | |
|------|-------|
| 出席者数 | 7 名 |
| 出席率 | 100 % |

| | |
|-----------|-----|
| ゲスト | 9 名 |
| ビジター | 4 名 |
| メネット・コメット | 2 名 |

| | |
|-------|------|
| 総出席者数 | 22 名 |
|-------|------|

| | | | |
|------------|-----|-------|------|
| 1 月 メイキャップ | 1 名 | 修正出席率 | 75 % |
|------------|-----|-------|------|

風の花祭り

青少年 CS 委員会

どうしてだ？ この会場は天気は良いのに風が強い。初回からずっとなのだから不思議だ。一度でいいから静かで作業しやすい環境が欲しい。

このお祭りは市内の子供達や各施設、そしてボランティアの人達が作った花の風車 15,000 本が乱舞し地域に密着した春の風物詩となっている。(そうか！ 風車には風が付き物か。なるほど。)

今回で 14 回を数えるこのお祭りに知的障害者施設すぎのこ作業所の子供達、そして下田クラブのメン達はずっと参加し作業を通して友情を育んできた。下田クラ

ブ、実は秘密のモチベーションを用意している。十数年前に植えた河津桜の木々がようやく見頃を迎えた。この場所は峠の頂きで気温が低い、そして土地が痩せて獣害もある。

それが今年は花咲か爺さんが頑張ったのか立派な花見が出来るようになった。メンがシェフとなり慣れない手付きでカレーとバーベキューで総勢 30 数名の立派なお花見になった。満足満足!

長田俊児



非常勤講師を務めて
…久しぶりの現場復帰…

書記 土屋 恒夫

(1) Opportunity knocks. (チャンス到来)

2017.2.22 日土肥高の校長から電話が入った。非常勤講師を御願いたしたいとのこと。オーバーに表現すれば私はそれを神の声のように聞いた。自分の mission (使命) と思い、受諾するのに逡巡はなかった。

退職後も色々な形(ラジオ講座・教会の Bible Class・英語通信執筆・英字新聞等)で英語に密着した生活を送って来たのも「いざ出陣」に備えてのことであったし、教えることは自分の天職だと思うからだ。

NHK ラジオ英会話の例文を借りれば“I decided to jump at the opportunity.”(好機に飛びつこうと決心した)となるのか。

(2) 土肥分校の特徴と私の姿勢

伊豆総合高校土肥分校(4月に改名)は全校生徒数50名に満たない。小規模校ならではの教育環境に恵まれた稀有な学園である。生徒も先生もほとんどが顔見知りなので、校内どこでも気持ち良い挨拶が交わされる。学習面では生徒一人一人への行き届いた指導が行われ、複数教員で指導する team-teaching の授業も魅力だ。

職員構成を見るとほとんどを若い先生方が占める。最近よく聞かれる“Active Learning”を定着させるために、パソコンや i-Pad などを活用したものや TV での遠隔授業等、生徒参加型が主流だ。

当初は浦島太郎になったような私だったが、自分の信念は守りつつ、新しい教授法を受け入れようと前向きに考えている。また ALT は今も変わらず優秀だ。感心するのは徹底して英語だけで授業をすること。我々 JTE (日本人英語教師) にとっても大変勉強になる。

7年間のブランクは思ったより早く取り戻せた。おかげで何とかゴールまで「完走」できて安堵している。常時“生徒 First”を心掛け、職員間では“前に出過ぎず”の態度を貫いた1年であった。

(3) S. Ullman の「青春の詩(うた)」より

米国実業家サミュエル・ウルマンは「青春とは」という著名な詩の中で、『青春とは人生のある期間をいうのではなく、心の様相をいう (Youth is not a time of life; it is a state of mind.)』と定義している。さらに『ideal (理想) を失うことは年を取ること』とも説く。

日々若者からパワーをもらっている私には老け込む暇がない。現役を退いて15年、未だ気持ちは新卒の時のままであるのが不思議なくらいだ。この年まで教壇に立っているとは考えたこともなかった。心は青春ということであろうか。

(4) 我この道を行く

大リーガーのイチロー選手(44)は「50まで頑張ると言っていましたね。」との記者の問いに、「何をおっしゃるのですか。私は最低50までと言ったんですよ！」と切り返した。どこまでも現役を続けるのだという情熱に男意気を感じる。

それは生涯1教師を生きて来た私にも通じる。自分を生かせる仕事ができる75歳は幸せ者だ。

もし運転出来なくなったり、痴ほう症に陥ったりしたら全てが無に帰す。規則正しい食習慣と walking or jogging、それに desk work を加えた文武両道のライフスタイルを守るべし。

まもなく講師契約(1年)は切れるが、来年も土肥分校での続投が決まった。下田・土肥往復100キロの道のりを週3日通う。道中歓喜の瞬間がある。紺碧の駿河湾越しに秀麗富士が姿を見せてくれる時だ。決して気負うことなく粛々と歩んで行きたい。

*1年を無事乗り切ったので smile をします。(笑)

2018.3.15 記



富士山部クラブ・YMCA・東日本区行事予定

- ・ 3/24(土) 富士クラブ30周年記念例会 富士市文化会館(ロゼシアター) 14時開会
- ・ 4/9(月) 伊東クラブ 4月例会 暖香園 18:30
- ・ 5/13(日) 第3回富士山部役員会・評議会 沼津
- ・ 6/2-3 東日本区大会 沼津

他クラブ等訪問

- ・ 2/18(土) 沼津クラブ 50周年記念例会 沼津
参加者:土屋(恒)Y's
- ・ 3/3-4 次期クラブ会長・部役員 研修会 東山荘 参加者:白井会長
- ・ 3/3(土) 伊東クラブ 彦根シャトークラブと3月合同懇親例会 参加者:清野 Y's

2 月 例 会 報 告

2 月 21 日 6 時 30 分から下田東急ホテルで開催。

ビジターは、伊東クラブから飯島唯志直前会長、牛田俊夫会計、堀口正作文献管理委員長、菊間利夫 CS 委員の4名、ゲストは卓話者土橋一徳氏、清野 Y's の姪加嶋尚美さん、土屋成子メネット、長田敏江メネット。今回は地方紙に土橋氏の卓話をお知らせし一般市民7名が卓話だけを聴講しました。

司会は清野 Y's、臼井会長の開会点鐘のあと、土屋(誠)Y's が「開会の言葉」を述べた。ワイズソングを皆で元気に歌い、続いて長田 Y's が「ワイズの信条」を読み上げ全員で追唱した。

臼井会長は会長挨拶で、まだ寒く河津の桜ももう少し、今日は卓話者の土橋一徳を歓迎する意を伝えた。出席者の紹介で先に記したゲスト、ビジター全員を紹介した。

書記報告(土屋(恒)Y's):前月例会から今日までのクラブの活動とこれからの予定を報告し、3 月 21 日開催する「子供箏曲体験教室」の協力を依頼した。佐々木 CS 委員長はすぎのこ作業所との花の風車取り付け協働作業とバサラ峠の桜の花見の予定を報告。長田親睦委員長は細野高原のわらび狩りは 4 月 20 日頃を予定している。また「秀箏会ひき初めの会」に参加した感想を報告をした。

食前感謝を土屋(恒)Y's が述べ会食。会食後土橋氏に卓話(下記囲み記事)して頂いた。

結婚記念祝いは、伊東クラブ堀口正作 Y's お一人、おめでとうございます。その後、平田親睦委員がスマイルを集めその結果と、出席率の報告があった。平田 Y's の閉会の言葉、会長の閉会点鐘で有意義な例会は終わった。

卓話「港町下田」

卓話者の土橋一徳氏は、大正 14 年生まれ 93 歳、下田市旧原町出身。下田市役所に勤務し古文書の解説に携わり、森斧での講座(12 年間開催)、海友館での講座、葵学園の講師など郷土史に関して多数の活動をしてきました。



下田に先祖代々住んでいた人は少なく、船で渡ってきた人が多い。日本海岸の丹後や丹波から来て住み着いた人もいる。江戸時代繁栄した綿屋七軒は大阪、雑貨屋七軒は和歌山、銭屋五平は神戸の出身。下田は大阪と江戸を結ぶ中継点として奉行所も置かれて繁栄した。

祖先を知るには、原戸籍(はらこせき)と除籍簿があるが明治9年までしか分からない。それより古い先祖はお寺の記録しかないがお寺も住職が変わると分からなくなることが多い。

伊豆は地震が起こると東海岸が隆起し西海岸が沈む。下田本郷は昔海であった。水主(かこ、船乗り)相手にサービスしたため、“おめえのかあちゃんべそ”とか“新田いいとこまんじゅうや”などの言葉ができた。

下田は海の関所があり、八戸の方から江戸に行くにも房州から一度下田に寄らなくてはならない。それが無くなり近年下田はさびしくなっていた。

下田の未来を見すえ、活気ある街にするにはどうすればよいか想い馳せている。それには、ソフト、「心」が必要。子供だけでなく大人も挨拶をすれば少し変わる。

第10回 4月 運営委員会 案内

日時: 4 月 3 日(火) 18:30 ~
場所: 珈琲苑(西本郷)

臨時運営委員会

2 月 24 日(土) 酔蓮 次次期富士山部長選出会議を行いました。

第445回 4月 例会 (LT) 予定

日時: 4 月 18 日(水) 18:30~21:00
場所: 下田東急ホテル

プログラム担当 予定者

| | | |
|--------|-------|------------|
| 受付 | | 清野 大樹 Y's |
| 司会 | | 平田 充浩 Y's |
| 開会の言葉 | | 土屋 恒夫 Y's |
| ワイズの信条 | | 佐々木 眞澄 Y's |
| 食前の感謝 | | 長田 俊児 Y's |
| 閉会の言葉 | | 土屋 誠 Y's |

パソコン実践ルーム

第 18 回 3/17(土) 14:00~ 清野宅
PowerPoint と会報作成
第 19 回 3/31(土) 14:00~ 長田宅
PowerPoint と画像写真処理



南伊豆の菜の花が満開でした